

コア・タイムス

[The Center for Overall Research on Education]

北播磨青少年健全育成関係機関・団体 合同研修会開催 12月3日加西市健康福祉会館

鎌田 敏 氏 講演会

次世代を担う青少年が、心身ともに健やかに成長し、たくましく生きていくことは、私たち大人の願いです。しかしながら、青少年を取り巻く環境は急激に変化し、激しい状況にあります。それにとめない少年の非行は、低年齢化、広域化、凶悪化等、憂慮すべき事態が続いています。

このような状況から、北播磨地区において青少年の健全育成に係わる関係機関・団体をはじめ、多くの市民の方々にも参加していただき、私たち大人や地域社会のなすべき課題について認識を高める機会にしたいと考え、下記の内容で研修会を開催します。入場は無料となっております。お問い合わせの上、ぜひご来場ください。

問合せ先

加西市立総合教育センター

電話 42-337233

日時平成23年12月3日(土)

(開場13時30分)午後2時~4時

場所加西市健康福祉会館ホール

加西市北条町古坂一〇七二一四

電話 42-6700

講演「大人の背中、子どもの未来」

〜こころ元気に、

今日から(こころ)

講師 鎌田 敏氏

(こころ元気研究所 所長)

鎌田 敏氏 プロフィール

こころ元気配達人として、全国各地で年間一四〇箇所以上の講演活動をされています。

「プロフィール」

神戸大学卒業後、就職されたが入社と同時にバブル経済の崩壊、いきなりリストラを経験された。様々なアルバイト経験ののち、神戸大学大学院に進まれたが、卒業時に阪神大震災に被災。神戸の地で「人生二度なし」の想いが心に刻まれた。



その後、

企業にて

技術職、営

業職、管理

職に携わ

られた。そ

の間、突然

の病が発症し、格闘しながらの日々が続くなかで、「人生は、心のあり方ひとつでガラリと変わ

る」ことに気づき、「こころ元気に積極的に生きる」ことの大切さを深く心に抱かれた。

平成17年3月「こころ元気研究所」を設立。こころ元気配達人として講演活動を始められる。現在、毎年1万人以上の方々へ元気を配達している。

「元気を分かち合う」べく、「楽しく、わかりやすく、ためになる!」をモットーに、90分も「アツ」という間の元気講演を届けてもらいます。

鎌田氏の講演会参加者の感想

(インターネットより)

鎌田氏の講演は関西弁のためか、とても楽しくわかりやすく、親の立場の私には「そうだなあ」「なるほどなあ」と共感できる内容でとても勉強になりました。よい親とはどんな親かわかりませんが、自分が常識ある人間でいれば子どもも見てくれるのだろうと思えました。

子どもが元気だと自分も元気になる。自分が元気だと子どもも元気になる。家族が元気だと周りの人に優しくなれる・・・ということに改めて気づかせていただきました。

「ありがとう」と言う側から、言われる側へなるよう頑張ります。

わかりやすく、ユーモアある講演であった。日常生活を振り返り、家庭での状況を反省させられた。今後気をつけていきたい。

地域で子どもを守り育てましよう!! 健全育成キャンペーン実施

11月13日(日)、青少年健全育成・非行防止活動の一環として市内青少年健全育成4団体(加西市補導委員連絡協議会、健全育成協議会、連合PTA、加西市立総合教育センター)が加西西北条ショッピングセンター、アステシアかさい、マックスバリュ古坂店、西村書店、コーナンのご協力をいただき、非行防止、インターネット等の正しい利用を進める運動を展開しました。

それぞれの店先で、万引き防止のチラシと、本年度市内小中学校児童生徒に募集した「インターネット等による犯罪トラブル防止運動作品」の中で最優秀に輝いた標語を印刷したチラシ等を来店者に配布、その後、補導のため店内を巡回しました。



「加西市ネット見守り隊」研修会 宇仁小学校で開催（10月15日）

「加西市ネット見守り隊」研修会が、市内の各小中学校で順次開催されています。

研修会では、兵庫県情報セキュリティサイバーポーターの篠原嘉一氏に、ネット被害の現状や個人情報流出の怖さなど、具体的な話を子ども向け、保護者向けにしています。

今回は、10月15日に宇仁小学校で開催された研修会の保護者及び児童の感想文をご紹介します。

【保護者感想文】

先日の講演会は、私と子供にとって、とても感心させられるお話でした。特に子供には衝撃的だったようで、身近にある半分おもちゃのように思っている物が、自分が知らない人に情報を提供している恐ろしい物に思えたようです。何度か「無料のゲームしたいから、お母さんの携帯で取ってよ」と言われたことがあったのですが、私は常日頃から「お母さんの携帯の番号や名前とか相手（知らない人）に教えるの嫌やねん」と言っていたので、「お母さんの言っていたこと正しかったやろ」

って言うと「ホンマやなあ、コワイなあ」プリクラも携帯に入れてもらうのやめとくわ」と言っていました。（略）

今回の講演がなかったらインターネットや携帯をここまで怖いものだと思わなかったでしょう。新聞やニュースで事件を知っていてもどこか他人事のような感じでした。でも、生の声で「加西市でも・・・、西脇市でも・・・」と聞くにつれ、自分の子供がそうなってしまうたらどうしようという気持ちに変わりました。

これから子供も思春期に入りますが、家族との些細な会話を大切にしたいと思います。



篠原氏の講演風景（宇仁小学校）

【児童感想文】

今日の講演会の話聞いて、ふだん使っているゲーム機やプリクラまでもが個人情報盗むために利用されているのはこわいと思った。最近、ますます電化製品とかが改良されたり、進化しているけど、その分、個人情報を取られないようにするための製品を増やすべきだと思います。（略）

インターネットにつなぐ時は親に相談すること、もし、インターネットとかの危険なアクシデントにあった時は一人で解決しようとしなことが大事だと分かりました。

心豊かな、ふれ愛をもとめて

県青少年補導委員大会研修会開催

兵庫県青少年補導委員大会・研修会が、10月22日（土）、三木市文化会館大ホールにおいて「心豊かな、ふれ愛をもとめて」を大会テーマに開催されました。大会では、開会行事に引き続き、補導委員を10年以上継続していた功績のあった方に贈られる知事感謝、同じく5年以上継続していただき功績のあった方へ贈られる会長感謝の表彰が行われました。

加西市からは、下記の皆様が受賞されました。（敬称略）

会長感謝										知事感謝	種別		
											氏名	校区	
宮川貞二	和田豊志	原田正幸	岡田 亘	三宅弘之	藤原 学	後藤健三	岩本光弘	山崎勝彦	村田有史	安田和也	横田かおり	西井律子	校区
西在田	西在田	宇仁	九会	九会	九会	下里	下里	賀茂	賀茂	賀茂	協力員	女性	

その後、アトラクションに移り、三木市内で活動しているジャズダンス三団体による、可愛い演技が披露されました。いずれも音楽に乗った軽快なパフォーマンスで緊張した式典の雰囲気を和らげてくれました。

続いての研修会では、関西国際大学人間科学部 桐生正幸教授による「犯罪心理学から見た、青少年の非行防止」と題した講演が行われました。

同教授は、山形県警察本科学捜査研究所主任研究官を経て、同大学の教授となり、現在は、ポリグラフ検査、犯罪プロファイルングの第一人者で、テレビ「LADY」の監修や「世界一受



県青少年補導委員大会での表彰式

【教育相談窓口】 TEL0790-42-3730

- 電話相談（予約不要）
日時：平日 9:00～17:00
- 面接相談（要予約）
日時：毎週木曜日
9:00～17:00
- 夜間面接相談（要予約）
日時：毎週火・水曜日
18:30～20:30

けたい授業」に出演されています。

講演会では、少年非行を考える際には、

- ① 常識を疑ってみること
- ② 実態を客観的に知ること
- ③ 日常でできることを考えること

をあげて、判りやすく話されました。